2011年度（平成24年3月期）
決 算 説 明 資 料

2012年5月9日

塩野義製薬株式会社

2011年度　決算の概要

2011年度 決算

経営成績（連結）

（単位:億円）

	2011年度予想	2011年度実績	対予想		2010年度実績	対前年	
			達成率(%)	差異		UP率(%)	増減
売上高	2,690	2,673	99.4	△17	2,824	△5.3	△151
営業利益	460	470	102.2	10	469	0.2	1
経常利益	440	461	104.8	21	452	2.0	9
当期純利益	270	271	100.4	1	200	35.3	71

注: 表記は億円未満を四捨五入

決算期の変更により、2010年度実績は、米国子会社について、2010年1月－2011年3月の15ヶ月分を計上

（単位:円）

<為替レート(期中平均)>	2011年度前提*	2011年度実績	2010年度実績	対前年比較
ドル	78	79.06	86.73	7.67 円高
ユーロ	108	109.00	115.60	6.60 円高

*: 第3四半期決算時における修正値

2011年度 決算

財政状態およびキャッシュ・フローの状況（連結）

（単位:億円）

＜財政状態＞	2012年3月実績	2011年3月実績	対前年増減
総資産	5,222	5,232	△10
純資産	3,472	3,281	191
自己資本比率（%）	65.9	62.7	3.2
1株当たり純資産（円）	1,028	980	48

（単位:億円）

＜キャッシュ・フローの状況＞	2011年度実績	2010年度実績	対前年増減
営業活動によるC／F	547	565	△18
投資活動によるC／F	△383	△139	△244
財務活動によるC／F	△277	△270	△7
計	△120	130	△250
現金等期末残高	987	1,107	△120

2011年度 決算

事業別・製品別売上高（連結）

（単位：億円）

	2011年度 予想	2011年度 実績	対予想 達成率(%)	対予想 差異	2010年度 実績	対前年 UP率(%)	対前年 増減額
国内医療用医薬品	1,658	1,644	99.1	△14	1,589	3.4	55
クレストール	366	357	97.6	△9	290	23.4	67
イルベタン	97	89	92.0	△8	73	22.9	16
サインバルタ	61	66	108.4	5	27	148.7	39
戦略3品目合計	524	513	97.8	△11	389	31.9	124
オキシコンチン	99	89	89.5	△10	96	△8.0	△7
フィニバックス	46	47	102.2	1	36	32.0	11
ディフェリン	36	37	101.5	1	32	14.6	5
ピレスパ	34	34	99.1	△0	28	22.3	6
ラピアクタ	14	14	97.3	△0	3	386.2	11
戦略8品目合計	753	732	97.2	△21	583	25.6	149
フロモックス	209	207	99.2	△2	219	△5.3	△12
リンデロン等外用	95	92	97.1	△3	95	△3.1	△3
クラリチン	72	78	108.7	6	100	△21.6	△22
フルマリン	64	69	108.1	5	75	△7.9	△6
輸出／海外子会社	167	170	101.7	3	374	△54.6	△204
シオノギ Inc.	57	58	102.6	1	270	△78.4	△212
C&O	19	19	101.6	0	-	-	-
ドリペネム	42	42	100.8	0	47	△9.5	△5
製造受託	78	76	97.5	△2	54	40.5	22
一般用医薬品	49	50	102.5	1	52	△3.0	△2
診断薬	28	27	96.7	△1	29	△5.3	△2
ロイヤリティー収入	690	687	99.5	△3	689	△0.4	△2
クレストール	658	647	98.4	△11	642	0.8	5
その他	20	19	95.9	△1	36	△47.3	△17
合計	2,690	2,673	99.4	△17	2,824	△5.3	△151

注：決算期の変更により、2010年度実績は、米国子会社について、2010年1月－2011年3月の15ヶ月分を計上

2011年度 決算

損益計算書（連結）

（単位：億円）

	2011年度 予想	2011年度 実績	対予想 達成率(%)	対予想 差異	2010年度 実績	対前年 UP率(%)	対前年 増減額
売上高	2,690	2,673	99.4	△17	2,824	△5.3	△151
（ロイヤリティー）	690	687	99.5	△3	689	△0.4	△2
売上原価	28.6 (38.5) 770	29.1 (39.1) 778	101.0	8	28.9 (38.3) 817	△4.9	△39
売上総利益	1,920	1,895	98.7	△25	2,006	△5.5	△111
販売費・一般管理費	54.3 1,460	53.3 1,425	97.6	△35	54.4 1,537	△7.3	△112
販売・管理費	890	889	99.9	△1	1,028	△13.5	△139
研究開発費	570	536	94.0	△34	509	5.3	27
営業利益	17.1 460	17.6 470	102.2	10	16.6 469	0.2	1
営業外収支	L20	L9	-	11	L17	-	-
経常利益	16.4 440	17.2 461	104.8	21	16.0 452	2.0	9
特別損益	L12	L46	-	△34	L120	-	-
税引前利益	428	415	96.9	△13	331	25.2	84
法人税等	158	144	91.1	△14	131	9.8	13
当期純利益	270	271	100.4	1	200	35.3	71

注：（）内はロイヤリティーを除外した売上高に対する売上原価の割合

2011年度 決算

シオノギ Inc.の業績内容

（単位：百万ドル）

	2011年度予想	2011年度実績	2011年度				
			上期実績	下期予想	下期実績	3Q	4Q
売上高	73 (57億円)	74 (58億円)	△31 (△24億円)	104 (82億円)	105 (82億円)	52 (41億円)	53 (41億円)
売上原価	28 (22億円)	29 (23億円)	15 (12億円)	13 (9億円)	14 (11億円)	6 (4億円)	8 (7億円)
販売費・一般管理費	192 (149億円)	191 (151億円)	85 (67億円)	106 (81億円)	106 (84億円)	50 (39億円)	56 (45億円)
営業利益	△146 (△114億円)	△146 (△115億円)	△131 (△104億円)	△15 (△9億円)	△15 (△11億円)	△4 (△2億円)	△11 (△9億円)

＜2011年度4Qおよび下期実績＞

- 売上：Naprelanの成長が遅れているものの、KapvayやOrapredの伸長、Fortametのジェネリック販売に対する差し止め期間の維持、ならびにPrenateの商標売却およびAdrenaclick/Twinjectの売却により2四半期連続で計画を達成
- 売上控除項目：いずれの項目も計画の範囲内でコントロールできる営業体制に到達
- 原価、販売費・一般管理費：コスト管理の徹底を継続し、事業の安定化に貢献
- 営業利益：下期ベースで計画通りの業績を達成

2011年度 決算

C&Oの企業結合会計および業績内容

◆ 企業結合会計の完了（連結損益計算書への影響）

（単位：億円）

	評価額	償却		計上科目
		2011年度実績	2012年度予想	
無形固定資産	28	1	2	販管費
のれん	81	2	4	販管費

- 少数株主持分2.18%の取得（最終株式所有割合：66%）
- 償却額の実績および次年度予想には変更なし

◆ 2011年度 C&O業績

（単位：億円）

	2011年度予想	2011年度実績	2011年	
			7-9月実績	10-12月実績
売上高	19	19	9	10
営業利益	0	△1	△0	△1

- 2011年8月に「抗菌薬物臨床応用管理弁法」が発表されたことにより、一時的に主力の抗生物質の売上に影響

注：2011年度予想および実績は、2011年7月-12月の6ヶ月分を計上
C&O：C&O Pharmaceutical Technology (Holdings) Limited

2011年度 決算

総括

◆ 国内営業

- 戦略8品目への集中を継続し、前年比25.6%の成長を達成した
- 戦略8品目のうち6品目で新薬創出・適応外薬解消等促進加算を取得した

◆ クレストールロイヤリティー

- グローバルセールスは伸長したものの、為替の影響、アストラゼネカ社との協議の長期化により前年比0.8%の微増となった

◆ シオノギ Inc.

- 2010年度に起きた一部製品の品質問題を解決し、安定した供給体制を確立した
- Naprelan, Kapvay等の戦略品目にリソースを集中するとともに、売上控除項目の管理徹底、収益性向上のための積極的な製品ポートフォリオ整理を実施した
- 上期に実施した返品引当ならびにメディケイドリベートの再計算に伴う追加引当をもって将来リスクを顕在化し、保守的な会計処理を実施した

⇒ 下期は安定した事業運営を実現

◆ C&O

- C&O社に資本参入し、マネジメント4名体制(うち、3名は現地派遣)で事業運営を本格化した

2012年度　業績予想

2012年度 業績予想

業績予想（連結）

（単位：億円）

	2012年度予想		2011年度実績	対前年	
	通期	上期		UP率（%）	増減
売上高	2,890	1,380	2,673	8.1	217
営業利益	560	245	470	19.1	90
経常利益	540	235	461	17.2	79
当期純利益	320	140	271	18.1	49

注：2012年度より、有形固定資産の償却方法を、現在主として使用している定率法から定額法へ変更する予定です。上記予想は、当該変更を前提とした数値です。

2012年度 業績予想

事業別・製品別売上高（連結）

（単位：億円）

	2012年度予想		2011年度実績	対前年	
	通期	上期		UP率（%）	増減
国内医療用医薬品	1,686	795	1,644	2.6	42
クレストール	370	180	357	3.6	13
イルベタン	100	48	89	12.0	11
サインバルタ	138	59	66	108.7	72
戦略3品目合計	608	287	513	18.6	95
オキシコンチン	97	48	89	9.4	8
フィニバックス	61	30	47	29.7	14
ディフェリン	45	21	37	23.1	8
ピレスパ	39	18	34	15.7	5
ラピアクタ	25	0	14	83.6	11
戦略8品目合計	875	404	732	19.5	143
輸出／海外子会社	297	146	170	74.9	127
シオノギ Inc.	155	70	58	165.0	97
C&O	56	29	19	190.1	37
ドリペネム	34	18	42	△19.7	△8
製造受託	101	47	76	32.9	25
一般用医薬品	51	27	50	1.5	1
診断薬	24	10	27	△11.4	△3
ロイヤリティー収入	712	345	687	3.7	25
クレストール	680	327	647	5.0	33
その他	19	10	19	△1.0	△0
合計	2,890	1,380	2,673	8.1	217

注：C&Oの2011年度実績は、2011年7月－12月の6ヶ月分を計上

2012年度 業績予想

シオノギ Inc.およびC&Oの業績予想

（単位：百万ドル）

シオノギ Inc.	2012年度予想		2011年度実績	対前年		2011年度下期実績
	通期	上期		UP率 (%)	増減	
売上高	194 (155億円)	87 (70億円)	74 (58億円)	161.9	120 (97億円)	105 (82億円)
売上原価	21 (16億円)	10 (8億円)	29 (23億円)	△28.3	△8 (△7億円)	14 (11億円)
販売費・一般管理費	211 (169億円)	107 (85億円)	191 (151億円)	10.4	20 (18億円)	106 (84億円)
営業利益	△38 (△30億円)	△30 (△24億円)	△146 (△115億円)	-	108 (85億円)	△15 (△11億円)

注：為替レートの前提(ドル) 2011年度：79.06円、2012年度：80円
対前年UP率は、ドルベースでの計算、増減額の円価には、上記レートの差異が含まれる

（単位：億円）

C&O	2012年度予想		2011年度実績
	通期	上期	
売上高	56	29	19
営業利益	5	3	△1

注：2011年度実績は2011年7月－12月の6ヶ月分を計上

株主還元

配当について

	1株当たり配当金			配当性向（連結）
	中間	期末	年間	
	円 銭	円 銭	円 銭	
2009年度	18.00	18.00	36.00	31.2%
2010年度	20.00	20.00	40.00	66.9%
2011年度	20.00	(予定) 20.00	(予定) 40.00	49.4%
2012年度	(予定) 20.00	(予定) 20.00	(予定) 40.00	41.9%

- 2011年度は1株当たり40円の予定
- 2012年度の配当は、1株当たり40円で据え置く予定
- なお、第3次中期計画に基づき(配当性向35%の維持)、事業活動による利益が予想を上回った場合は還元

将来見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。その情報は、現時点において入手可能な情報から予測した見込み、リスクを伴う想定、実質的に異なる結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利や為替レートの変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
  リスクや不確実性は、特に既存および開発中の製品に関連した見通し情報に存在します。それらには、臨床試験の完了ならびに中止、規制当局からの承認取得、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念の発生、技術の進歩、重大な訴訟における不利な判決、国内外各国の保健関連制度の改革や法規制などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
  また、既存製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。